	佐倉市立公民館活動計画を基本として、根郷地区の特性を活かし、住民の生涯学習及び各種地域活動の場として中心的な役割を果たす施設となるように努める。
ジャンルの目標	

・ 公民館利用団体の活動を支援しながら、団体活動が停滞しないよう意見交換や情報の提供を行い、地域活動に積極的にかかわろうとする意欲の向上を図る。併せて団体相互 の連携促進を図り、新たな組織の自立と活動の活性化を図る。

☆個別事業評価一覧

No.	事業名	事業の内容
1	「あけぼのグループ」への支援	「あけぼのグループ」は、昭和44年、よりよい家庭生活の実現に役立てるために根郷地区婦人会並びに農協婦人部役員、25名で結成した。今年度は、9名で活動し、地域の人や子供たちへ、根郷産のこんにゃく芋を使ったこんにゃく作りをはじめとした生活技術の伝承活動を行っている。公民館としての支援は、年に2回「こんにゃく作り」講座を開催し、普及に努めている。また、活動が円滑に出来るように連絡調整や部屋の確保、道具の提供をしている。
2	「南部地区子ども会育成会連絡協議会」への支援	「南部地区子ども会育成会連絡協議会」は、南部地区の子ども会をまとめる組織として、昭和56年に「子供会育成会」として発足した。子ども会が円滑に活動できるよう、研修会や会長連絡会を開催し助言等を行っている。公民館としての支援は、バス研修や会議、等を共催で実施し、ジュニアリーダーズクラブが主催する活動へも参加している。また、活動が円滑に出来るように連絡調整、部屋や備品保管場所の確保、印刷使用料免除などを行っている。
3	「根郷地区青少年育成住民会議」への支援	「根郷地区青少年育成住民会議」は、根郷地区の住民が連携し、青少年の健全育成を促進するために活動している団体。「すくすくまつり」や研修会、「夜間パトロール」等を実施、通学路等の標語看板の掲示及び管理、機関紙の発行などを行っている。公民館としての支援は、「夜間パトロール」や「すくすくまつり」等の活動への参加、活動が円滑に出来るように連絡調整、部屋や備品保管場所の確保、印刷使用料免除などを行っている。
4	「ハンギング・リラ」への支援	「ハンギング・リラ」は、平成26年、「はじめてのハンギング・バスケット講座」の参加者が立ち上げた団体。ハンギング・バスケット製作を通じ、植物の知識等を習得、花と緑あふれるまちづくりに貢献する。公民館としての支援は、活動が円滑に出来るように連絡調整、部屋の確保や道具を提供する等している。
(5)	「花の応援団」への支援	「花の応援団」は、平成9年以降の「協力ボランティアの公募」と平成11年の「園芸講座」から立ち上がった団体。月1回、公民館花壇の整備や植物に関する知識の習得に努めている。公民館としての支援は、活動が円滑に出来るように連絡調整、部屋の確保や道具を提供する等している。
6	「ねごう歩こう会」への支援	「ねごう歩こう会」は、平成19年度開催の「根郷探訪」と平成22年度開催の「健康づくり講座」から立ち上がった団体が合体した会。根郷地区の自然や史跡等を散策しながら、郷土の魅力を再発見することにより、郷土愛を高めている。公民館としての支援は、活動が円滑に出来るように連絡調整、活動に必要な道具を提供する等している。
7	「パソコンボランティア」への支援	「パソコンボランティア」は、平成9年以降の「協力ボランティアの公募」と平成13年の「パソコン講座」から立ち上がった 団体。現在は、「パソコン広場」として月1回(年12回)、初心者のパソコンに関する質問に答えている。公民館としての 支援は、年3回、連絡調整のために会議を開催。また、活動が円滑に出来るように連絡調整、部屋の確保と道具を提 供する等している。
8	「保育ボランティア」への支援	「保育ボランティア」は、平成8年、親子講座開催のため、「協力ボランティア」を公募し、立ち上がった団体。今年度は、2歳児の親子を対象とした「ぽっぽちゃんくらぶ」開催時に参加のきょうだいの保育を20回、「怒鳴らない子育て練習講座」開催時に受講者のお子さんの保育を1回おこなった。公民館としての支援は、活動が円滑に出来るように連絡調整、部屋の確保や道具を提供する等している。
9		
10		

☆ジャンル総合評価

☆ンヤンルネ	☆ンヤンル総合評価				
	個別事業における、ねらい・運営方法・学習テーマ・対象者・講師・資料・広報等、事業全般				
			A:各個別事業の想定課題は正しかった。	C:個別事業の想定課題が違っていたところがある。	
企画	企画段階での課題と解決策	A	B:各個別事業の想定課題はまあ正しかった。	i:途中で変更した。	
				ii :そのまま進めた。	
			A:各個別事業の想定課題の解決は進んだ。	C:各個別事業の想定課題とは別の課題が出た。	
実施	実施しての課題と解決策	A	B:各個別事業の想定課題は解決はまあ進ん	だ。 i :別の方向に進めた。	
				ii :そのまま進めた。	
点検			、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	り会員の確保が課題となっている。公民館だより等によるPRを行うとと	
			A:事業拡大。	D:目的達成により終了。	
改善	次年度への課題と展望策	В	B:現状規模での継続。	E:統合・改善・その他	
			C:事業縮小。	(

総合評価

事業規模

Α

A:適切で成果が得られている。 B:課題あり、成果が得られている。 C:課題あり、成果があまりない。 D:成果が得られていない。

E:現段階では判断できない。

成 果

議座から立ち上げた「花の応援団」と「パソコンボランティア」がそれぞれ10年以上存続し、公民館活動に貢献している。「あけばのグループ」への支援は今年で9年目を迎えたが、講座人気はまだ衰えていない。また「こんにゃく作り」は講座以外でも公民館利用サークルなどで増えつつあり、「根郷産こんにゃく」が周知され始めている。

課題

活動内容や課題など、団体により状況が様々である。それぞれの支援すべき内容を再点検し、各団体の自主性を尊重しつつ、 その場合に応じて臨機応変に支援する。

☆公民館運営審議委員意見				
総合評価	A	地元根郷産の芋を使ってのこんにゃく作り体験、さらに根郷地区青少年育成住民会議主催の「すくすくまつり」への活動支援など、よりよい地域づくりに大いに寄与していると思います。		
	0	THE LEVEL AND A SECOND ASSESSMENT OF THE SECON		

委員②		地域に根ざした活動ができているため、継続できている。
総合評価	A	

	委員③	長年にわたり団体育成をし、結果として、公民館活動に貢献していることは素晴らしい。
総合評価	A	

	委員④	団体の自主的な活動への支援、サポートをして頂き、本当にありがたくて、それぞれが意欲的に活動できている事が感じとれました。
総合評価	Α	

	委員⑤	体験型・参加型のこんにゃく作り講座の講師には、地域伝承を目的にして活動してきたグループとのこともすばらしい活動だと思いました。根郷産のこん にゃく作りをもっと多くの人が体験できるように継続してください。
総合評価	A	にやNFYをもつと多くの人が体験 じさるように軽極し CNにさい。

委員⑥

①地域伝承を目的とした団体の活動支援

①地域伝承を目的とした回体の活乳ス版
「あけぼのグループ」
やわらかくプリプリのコンニャクとちょっと甘めのゆず味噌は、とてもおいしいものでした。ご馳走様でした。
根郷産蒟蒻が幕府の献上品であったことを知ったことから始まったとのことだが、まさに公民館の味のある事業である。市内の農産物直売所でも手作りコンニャクが販売されるようになってきたが、この蒟蒻には「学習」の味がある。故に農政側の事業でもあるアグリフォーラムで取り上げられたのではないか。根郷産蒟蒻芋の生産量が極めて限定されているとは聞いたが、それでも販売を考えてしまう。農業の6次化が課題となっているが、農政、産業振興側と連携を失り、特定品として商品化が図れないだろうか…。公民館活動という制約の中では、おいしい話はないかも知れないが、そんなことを考えてしまう味がした。食生活改善推進員や志津のおやじの食事学でのレシピ開発、根郷を始めとした通学合宿での食材活用など、連携が図られれば「素敵」だと思う。講師(会員)の高齢化がさらに進んでいるとのことだが、蒟蒻は長寿の薬…頑張っていただきたい。そして、後継者づくり、その支援も頑張って頂きたい。

②地域活動を中心とした団体の活動支援 「南部地区子ども会育成会連絡協議会」「根郷地区青少年育成住民会議」 雨子連は、リーダー的役割を果たしてきた子連であり、市の子連活動でも主要な役割を担っている。ジュニアリーダースクラブによる指導者育成も継続して行われている。少子化が進む中で、子ども会の役割は、地区を越えた異年齢交流、同年齢交流の場として、また保護者の情報交換の場として、少子化の中でますます重要度を増しているが、一方で、運営継続は、ますます難しくなってきてもいる。公民館の支援とは、何よりも活動の場の提供、連絡調整となるが、研修会や各種会議等を子ども会とともに実施していくことが重要となっている。それぞれ特色ある子ども会の集まりであるため、調整作業にも苦労があると思われるが、子連のリーダー養成も含めて、一層の支援を望む。青少年育成住民会議は、自治会、学校教育関係者、社会教育関係団体、社会福祉関係者等を始めとして、数多くの地域活動団体により組織されるが、それぞれの団体活動の紹介や相互理解、協働による事業実施等が行われている。公民館には、何よりも連絡調整役が求められる。時には企画提案も課題となることがある。住民会議の運営に必要な支援が継続されているからこそ、地区の各団体が集うことができるのであり、公民館に信頼される機能があるからこそ可能な組織となっている。ねごうすくすく祭りは、目に見える住民会議の活動の一つの成果でもある。今後も住民会議の信頼に応え続けていただきたい。 ③講座から立ち上げた団体の活動支援

③講座から立ち上げた団体の活動支援

「ハンギング・リラ」「花の応援団」「ねごう歩こう会」「パソコンボランティア」 ・ハンギング・リラ

平成26年、講座からサークルが立ち上がった団体活動であるとのこと。担当者冥利に尽きるのではないか。地縁・血縁社会からサークル縁社会に変わったと ていた。 も言われるが、地域の人の結びつきのあり方は、いくつあってもよいと思う。公民館講座はそんな一面も持っている。これから、どのように活動が拡大していく のか楽しみだが、花の溢れる地域づくりを目指して支援されるよう期待している。花の溢れるまちは、犯罪の少ないまちでもある、らしい。

人の心を和ませる花々がまちにあることは、そのまちの優しさを表す指標であったりすることもあるとのこと。行政部門でも花壇コンクールなどを通じて花の溢 総 れるまちづくりが進められているが、地域活動としても取り組みやすい分野であるとも言える。目的意識がより分かりやすく、人々に喜ばれ、直接的に感謝さ れ、褒められたりする事業の代表例だろう。高齢化が進んでいることや会員が減少しているとのことだが、多種多様な趣味人が増えている(公民館が育成した結果でもある)中で、担い手を確保していくことは難しいのかもしれないが、講座から立ち上げられ10年以上継続しているのは、会員の意識と公民館の支援の賜であり、ぜひ活動継続が図られるよう一層の支援いただきたい。 「ねごう歩こう会」 健康づくり、コミュニケーションの場づくり、そして地域学習と、大きな3つのテーマに取り組め、しかも間口が広い活動である。会員は楽しく歩けることの幸せ 合 Α 評 侕 パソコンなしでは生きていけない、とは言わないまでも、パソコンを使えなければ、何をするにも時間を無駄に費やし、得られる情報も限られてしまう世の中になっている。ワープロが普及しだした頃、自分史ブームが始まったが、少しでもその便利さに触れると、自分の可能性を広げてくれる道具として使えることに、づく人は多い。また一方で、自分には難しすぎて無縁だと思い続けている人も多い。情報化社会に暮らす私たちには、もはやパソコンは自分の脳の一部でもある。そのパソコンの利用、特に高齢の初心者にパソコンの魅力を伝えることは、その人の可能性を広げていく手助けになることでもある。より詳しく教えて欲しいというような声があがったり、答えられないような質問がでるようになるということは、成果として結びついている証拠でもある。しかし、公民館はパソコン習得学校ではない。入門的領域を担えばよいのであって、高度なものを求める段階にまで到達した人は、その人が自ら何らかの方法で自分を高めていけばよいのである。今後とも裾野を広げる活動の支援として期待する。何よりも、パソコンで何ができて、何をしたいのか、気づき学ぶことこそ大切である。何よりも技術だが、技術に終わらない広場づくりになっているものと思われる。活用することが支援でもある。講座から立ち上がった団体活動であり、10年以上継続しているとのことだが、より多くの、気軽に教えられる能力を持つ人材育成も含めて、支援を継続して頂きたい。(8歳寒運営に関する同様の注册する理 ⑧講座運営に関する団体の活動支援 「保育ボランティア」 親子講座開設のために協力ボランティアを募ることにより実現した団体とのこと。子育て期間中の保護者が講座に参加意欲を持てるかどうかは、子ども対策 が図られるかどうかが大きな要因となっている。2歳児と保護者を対象としたぽっぽちゃんくらぶは、根郷公民館家庭教育事業の中でも中心的な事業の一つ だが、対象の子どもの兄弟姉妹を預かることが可能となって始めて参加できる親子もいる。親子関係事業、子育て支援事業を実施する場合の対象者は、保 にか、対象の子ともの元弟姉妹を預かることが可能となって好めて参加できる税子もいる。税子関係事業、チ育て又接事業を美施りる場合の対象者は、味育ポランティアがいることにより参加しやすくなるばかりではなく、他の様々な講座でも保育ボランティアの活躍も期待される。地域の中で母親が孤立しないようにしていくためにも、公民館の講座に参加していただくことは大きな効果があると思う。そのためにも、保育ボランティアの果たす役割は大きい。公民館が魅力的な講座を作れば作るほど、ニーズを掘り起こすことになり、保育ボランティアの数が必要となってくる。保育ママやファミリーサポートセンターに預けるというほどの時間を要しない講座参加では、この機能は子育て支援策としても大きいと思う。様々な問題、課題はあると思うが、ぜひ確保・育成に尽力頂きたい。以上、「事例発表の事業について」:それぞれの具体的な支援、取り組みに対して個別事業総合評価A 委員(7) 団体の運営にはそれぞれが工夫と課題をもち努力していると思います。「展望策」にやさしい活動方法の検討とあるが、ぜひ望みたい。 合 Α 評 価 「根郷公民館における団体育成」 各種団体の活動を円滑に展開できるよう支援・育成することにより良い地域づくりの推進が図られている。 委員⑧ 公民館の支援があってこその団体のため、活動が停滞しないよう支援に期待します。 総 合 Α 評 価 根郷産のお芋を使ってのこんにゃく作りは、この地区の住民はもとより、多くの方に知っていただきたい意義のある事業だと考える。アグリフォーラムで紹介されたとの事。情報誌や広報番組に取り上げられるなど、情報発信の機会が多々あり、事業の活性化が大いに期待できるあけぼのグループさんの思いを尊重し、それを共有できる方が来てくださることを望む。 委員⑨ 総 合 Α 評 根郷産の芋で「こんにゃく作り」体験は、実益もあってすばらしい事業だと思いす。「すくすくまつり」は小・中・高校や複数団体などとのコラボで、昨年25回目 を迎えられたことは、公民館の支援及び連携が非常にうまく行っているからと考えます。10年以上継続されている「花の応援団」はじめ、他の団体への活動 委員(10) 支援も公民館が積極的に行っており、継続すべきと考えます。 Α 評 価 委員⑪ 団体育成のプレゼンテーションを見せて頂き感じたことは、現在の4つの活動支援をなさっており精力的に活動していることが、よくわかりました。 評 価

	委員⑪	(こんにやく作り体験) +がアナイスでもパップのだり、 プロをはなってはないまたは、1500 の 1.1.2.1 ピュス は、 マのパス *** (ロータので) スパケリーをのました。	
総合評価	Α	支援団体である「あけぼのグループ」の講師による体験講座は気さくな方言が人気の一つともうかがえる。作って食べる講座は後の楽しみがあり人気の要素ともいえる。絶やすことなく続けて欲しい講座の一つである。 素ともいえる。絶やすことなく続けて欲しい講座の一つである。 (すくすくまつり〜ねごう〜) スタッフの苦労は大変だが地区の交流の場として継続していく事業である。	
	= = 0	クジャス型の「ナノナノがリ」」に思いままじょ	
	委員⑬	多彩な活動の「すくすく祭り」に興味を感じた。	
総合評価	Α		
	委員(4)	「花の応援団」活動の中に 昔は有名だった 「佐倉茶」の 復活をお願いしたいと思う。	
総合評価	Α	佐倉茶の苗木、根郷蒟蒻の苗木や、製品が、が販売される。ことを期待したい。	
総合評価	委員⑮ A	高齢化に伴う会員(講師)の減少、また、参加者にも高齢者が含まれる時の、実施内容、コースなど、講座継続への問題点(苦労)が 伺えます。一方で「根郷産こんにゃく」は、良さが伝わり見直されているようで、これを基に、多くの人に参加してもらえるような呼びかけ方も(今まで実施はして いるでしょうが)一工夫欲しい所です。	